



常陸太田市

# 議会だより

## NO.155

平成31年2月25日号

常陸太田市議会



### 主な内容

- 議案賛否一覧 ..... 2~3
- 議案質疑 ..... 4
- 一般質問 ..... 5~8
- 常任委員会審査 ..... 9~10
- 表紙によせて ..... 12

常陸太田市議会

検索



議会フェイスブック

### 表紙のテーマ

## 「常陸太田の四季」

撮影：太田一高写真部



今号から随時、表紙の写真を太田一高写真部の皆さんの作品を掲載していきます。

※写真部の紹介については12ページをご覧ください。

第5回定例会

提案理由説明(要旨)



大久保 太一 市長

第5回定例会(12月3日～14日)の提出議案は、条例の全部改正1件、条例の一部改正2件、関係条例の整備1件、公の施設に係る指定管理者の指定5件、工事請負契約2件、平成30年度補正予算9件、合わせて20件であります。

また、一般会計補正予算では、防犯カメラ設置費のほか、市内の小中学校及び幼稚園の普通教室へのエア

コン設置費、前年度生活保護費国庫負担金等の精算に伴う返還金、各種サービスの利用増による障害者の自立支援給付費など合計4億3286万円を追加し、総額を248億1279万円とするものです。

なお、会期中に人事院勧告に基づき国に準じた措置等に係わる条例の一部改正及びこれに付随する補正予算を国会の審議の状況を踏まえ、追加提案する予定です。



第5回定例会 議案賛否一覽

△全員賛成で可決した議案▽

議案番号	議案名	付託委員会	議決結果
議案第80号	常陸太田市議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例の一部改正について	総務	原案可決
議案第81号	常陸太田市認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	文教民生	原案可決
議案第83号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	文教民生	原案可決
議案第84号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	文教民生	原案可決
議案第85号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第86号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第87号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	文教民生	原案可決
議案第88号	常陸太田市立水府小・中学校一貫教育学校校舎建築工事請負契約について	総務	原案可決
議案第89号	常陸太田市民交流センター屋根・外壁改修工事請負契約について	総務	原案可決
議案第90号	平成30年度常陸太田市一般会計補正予算(第5号)について	総務	原案可決
議案第91号	平成30年度常陸太田市民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	文教民生	原案可決

△賛否の分かれた議案▽

議案名	付託委員会	審査結果	宇野 隆子	高木 将	黒沢 義久	後藤 守	川又 照雄	茅根 猛	高星 勝幸	深谷 秀峰	菊池 伸也	益子 慎哉	平山 晶邦	深谷 涉	藤田 謙二	諏訪 一則	菊池 勝美	小室 信隆	森山 一政	議決結果	
議案第82号	地方公営企業法の規定を適用することに伴う関係条例の整備について	産業建設	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	原案可決
議案第79号	常陸太田市水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例の全部改正について	産業建設	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	原案可決

○…賛成 ×…反対 欠…欠席  
 ※議長を表決権・過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決か否決か決定することができます採決権が認められています。

議案第92号	平成30年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	文教民生	原案可決
議案第93号	平成30年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	文教民生	原案可決
議案第94号	平成30年度常陸太田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	産業建設	原案可決
議案第95号	平成30年度常陸太田市戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計補正予算(第2号)について	産業建設	原案可決
議案第96号	平成30年度常陸太田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	産業建設	原案可決
議案第97号	平成30年度常陸太田市水道事業会計補正予算(第1号)について	産業建設	原案可決
議案第98号	平成30年度常陸太田市工業用水道事業会計補正予算(第1号)について	産業建設	原案可決
議案第99号	常陸太田市職員の給与に関する条例及び常陸太田市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	本会議	原案可決
議案第100号	平成30年度常陸太田市一般会計補正予算(第6号)について	本会議	原案可決
議案第101号	平成30年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	本会議	原案可決
議案第102号	平成30年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	本会議	原案可決
議案第103号	平成30年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	本会議	原案可決
議案第104号	平成30年度常陸太田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	本会議	原案可決
議案第105号	平成30年度常陸太田市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について	本会議	原案可決
請願第2号	教育予算の拡充を求める請願	文教民生	採 択
議員提案第2号	教育予算の拡充を求める意見書の提出について	本会議	原案可決
議員派遣について		本会議	原案可決

# 議 案 質 疑

(第5回定例会)

**問** 議案第88号 常陸太田市立水府小・中学校一貫教育学校校舎建築工事請負契約について一般競争入札の要件や落札率について伺いたい。

**答** 総務部長 一般競争入札の要件については、2社による共同企業体（JV）を条件としている。

JV代表の構成は、事業所の範囲を隣接または隣々接市町村に本店または営業所があることや入札参加資格者名簿に記載された建築の総合評定値P点（経営規模・技術力等の点数）が1200点以上であること。また、特定建設業の許可があり1級建築士または1級建築施工管理技士を専任で配置されていることや過去10年以内に同種工事の経験があることを条件としている。

JV代表以外の構成は、市内に本店があることや入札参加資格者名簿における建築の格付がBランク以上であること。また、国家資格がある技術士を専任で配置できていることとしている。

今回、入札に参加した事業所数は3企業体で、予定価格は、税抜き価格で9億1590万円。落札率は99・90%である。

また、JVによる工事の出資比率は、代表構成者が70%、代表以外の構成員が30%である。

**問** 議案第89号 常陸太田市民交流センター屋根・外壁改修工事請負契約について屋根・屋上防水・外壁塗装改修工事の工事内容について伺いたい。

**答** 教育部長 屋根改修工事については、経年劣化や腐食した銅板ぶきアーチ部等の既存屋根の銅板撤去を行わず、その上に新しい屋根材のガルバリウム鋼板で被覆するカバー工法により改修工事をするものである。施工面積は約3300平方メートルを予定している。

また、陸屋根部分に施工する屋上防水改修工事については、施工箇所屋外機械等が設置されているため、形状に左右されず施工が可能なウレタン塗膜防水施工により改修を行っていく。施工面積は約830平方メートルを予定している。

また、外壁塗装改修工事については、既存の塗膜を全面撤去した後には、クラックや剥離した部分を補修した上で下地処理を行い、耐候性、低汚染性に富んだ塗材による吹き付け塗装改修を行っていく。施工面積は約4500平方メートルを予定している。



市民交流センター

**問** 議案第90号 平成30年度常陸太田市一般会計補正予算（第5号）について里山ホテルときわ路撤退によりフォレストリゾート推進事業費が減額されているが2年間の成果について伺いたい。

**答** 企画部長 この事業は、国の地方創生推進交付金を活用し、里山ホテルときわ路周辺を起点に、周遊や宿泊を伴う着地型観光を推進し、交流人口の拡大を目指し、平成28年度より実施したものである。

事業の成果については、フォレストリゾートの推進協議会が平成29年度に実施した自然体験プログラムの実証実験等とおして得られた需要予測等のアンケート調査結果や自然体験プログラムの損益試算結果などを成果とし、報告書としてまとめ提供されている。

市としては、本市における観光振興や交流人口拡大のための施策を検討していくうえで、事業をおして得られた成果を活用してまいりたいと考えている。

**問** 議案第95号 平成30年度常陸太田市戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計補正予算（第2号）について循環型社会形成推進事業交付金を減額した理由について伺いたい。

**答** 上下水道部長 循環型社会形成推進事業交付金の減額については、当初、100基分を見込んでいた浄化槽の設置基数が70基の見込みとなることによる減額である。

戸別合併処理浄化槽設置整備事業は、循環型社会形成推進交付金を財源として平成28年度から平成30年度までを計画期間とした循環型社会形成推進地域計画に基づき事業を実施。年間100基の整備を計画し、財源となる交付金を確保している。

平成28年度から平成30年度の3カ年について、300基の計画に対し、平成29年度までに142基を設置し、今年度は70基を見込んでおり、合わせて212基、70・7%の実績である。



## 一 般 質 問

平成30年第5回市議会定例会の一般質問は一問一答方式で行われ、7名の議員が登壇しました。（次ページから掲載）

※掲載内容は一般質問の一部を要約したものです。発言の詳細は市議会ホームページ・市図書館で公開する会議録をご覧ください。



藤田 謙二 議員

**問1** 都心と地方との税収格差が増加する中、生まれ育った故郷や自分の意志で応援したい自治体を選ぶことができる制度として創設されたふるさと納税の本市における収支及び返礼品目の推移について伺いたい。

**答1** 総務部長 平成27年度は本市への寄附が約4471万円に対し、返礼品の調達費用や広告並びにポータルサイト運営等の諸経費が約1875万円、市民の

**問1** ふるさと納税の収支及び返礼品目の推移は

**問2** 区分別経費を含む学校給食に関する運営状況は

方が他の自治体に寄附したことによる市民税控除額が約585万円

で歳入歳出の収支は約2010万円の黒字。平成28年度は寄附が約2405万円、諸経費が約1465万円、市民税控除額が約871万円

で収支は約68万円の黒字。平成29年度は寄附が約2525万円、諸経費が約1372万円、市民税控除額が約1306万円

は96品目、平成29年度は121品目となっている。

**問2** 賄い材料費など給食を提供する上で必要な諸経費及び運営状況について伺いたい。

**答2** 教育部長 平成29年度の学校給食の歳出総額は約4億4900万円で、内訳は賄い材料費が約2億893万円

で、内訳は賄い材料費が約2億893万円、燃料費が約648万円、各種委託料が約3363万円、その他にも農業振興費から常陸太田市産の食料等を購入するための加工費や加算分として約683万円、更に平成26年4月からの消費税増税分も別途負担している。また、提供可能な食数7000食のところ現在4114食を提供。稼働率は58.8%となっており、今後も50%台を推移していくことから現状の供給体制を維持してまいりたい。



川又 照雄 議員

**問1** 平成23年4月より意欲ある地域おこし協力隊を採用し、8年目に入った現在の活動と今後の展望について伺いたい。

**答1** 企画部長 現在活動している協力隊員は、移住定住を促進する方、林業の担い手として技術を習得している方が各1名、竜神カフェのスタッフ、特産品開発にチーズの製造と商品化に取り組む隊員が各2名の計6名が活動しており、毎月活動報告会を開催

**問1** 地域おこし協力隊の活動と今後の展望は

**問2** 耕作放棄地の現状と農地の集約は

し、活動状況の把握と助言、隊員同志の情報交換を行っている。

これまでに任期を終えた19名の隊員のうち、6名が市内に定住しており、その他の隊員も地域で開催されるイベントに参加する等、引き続き地域の活性化に取り組んでいる。今後においても、隊員が仕事として生計を維持できるように活動内容を明確にし、身に付けた技術や能力を生かし本市に定住できるように受け入れを継続したい。

**問2** 耕作放棄地の解消策と農地の集積・集約について伺いたい。

**答2** 農政部長 市内の経営耕作面積4870haのうち、2015年農林業センサスによる、耕作放棄地は、618haで、そのうち再生可能な農地は、約140haである。

耕作放棄地の解消策としては、平成21年度から「耕作放棄地解消事業」を推進することにより18.23haを解消。また、中山間地域等

直接支払制度や多面的機能支払交付金事業を活用し、地域の協働活動を支援し、耕作放棄地の発生防止に努めている。

また、農地の有効利用を図るため、農地バンク農地中間管理事業、更には農業委員・農地利用最適化推進委員等による農地の流動化、市内外の農業生産法人や地域の中心となる担い手等との連携により農地の集積・集約を進めている。

【川又 照雄 議員 質問事項】

- 地域振興について
- 農業問題について
- 環境問題について

【藤田 謙二 議員 質問事項】

- 地域振興の推進について
- 食育の推進について
- 地域資源を生かした誘客促進について



森山 一政  
議員

**問1** 市街化調整区域において人口維持につながる区域指定について伺いたい。

**答1** 建設部長 既存集落でのコミュニティの維持などを目的とし、市街化調整区域において、誰でも住宅、小規模店舗等の建築を目的とした都市計画法上の開発許可を受けることができる区域を指定した制度である。

この制度は、集落コミュニティの維持と共に人口減少に対する緩

**問1** 区域指定制度の活用は  
**問2** 県道和田上河合線の拡幅は

和施策の一つともなり得る制度ではないかと考える。引き続き農地転用などに関する庁内部署と連携したPRを図ると共に、市の開発許可担当窓口における宅地・建築関係の事業者等との協議の際のPRや空家バンク、移住相談窓口での情報発信などに取り組んでいく。

**問2** 県道和田上河合線の声間・和田丁字路間の狭隘な区間の今後の対応について伺いたい。

**答2** 建設部長 市として国県道の整備については、国土交通省、財務省、県に対し、近隣市町村と連携して、予算の確保や新規箇所の事業化等を要望している。この路線は、市の西部を南北に縦断する広域ネットワークの一部路線であり、大子方面、竜神大吊橋など観光拠点へのアクセス、那珂市、東海村、ひたちなか市方面を結ぶ役割を担っている。狭隘区間の拡幅については、今年の市政懇

談会の際に拡幅の要望があり県に申し入れを行い、更には、11月に芦間町の住民全員と和田町の県道沿いの地権者全員が署名捺印された「芦間、和田丁字路間の県道拡幅工事の要望書」が提出され、県常陸太田工事事務所に進達したところである。

今後、他の箇所と併せて県等に対して要望・協議を継続してまいりたい。



一則 議員  
諏訪

**問1** ひとり親世帯をはじめ、子どもを持つ低所得世帯に対して、市はどのような支援をしているのか伺いたい。

**答1** 保健福祉部長 生活保護世帯に対し、小中学校の入学時に入学準備金の支給や教育費として学級費、教材費、通学費及び校外活動参加費等が支給され、高校、大学への進学時には、高等学校等就学費や進学準備給付金が支給されている。

**問1** 子どもの貧困対策について  
**問2** 剥奪指標を用いた実態調査は

また、教育委員会による就学援助として、「要保護者」、「準要保護者」に対し、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費及び学校給食費等が支給されている。更には、生活困窮世帯等の中学生を対象に、「子どもの学習支援事業」として、学校外において予習や復習、宿題等の勉強ができる場の提供と生活上の悩みや進学に関する助言等の事業を行っている。ひとり親世帯に対しては、親が就

職に有利な資格を取得するために養成機関へ入学する場合には、最長で3年間、給付金の支給を行っている。

**問2** 子どもの貧困を把握するため、早急に剥奪指標を用いた実態調査を行うべきと考えるが所見を伺いたい。

**答2** 保健福祉部長 子どもの貧困については、常時実施している「生活困窮者自立支援相

談」や生活保護の相談をとおして把握に努めている。児童・生徒に關しては、教育委員会の就学援助における「要保護者」、「準要保護者」の認定の調査をとおして把握している。貧困を測定する指標の一つである剥奪指標については、国の貧困指標に関する調査研究の動向を注視し、実施については調査、研究していく。

【諏訪 一則 議員 質問事項】

- 子どもの健全育成策について

【森山 一政 議員 質問事項】

- 人口減少への対応について
- 県道166号線和田上河合線について



平山 晶邦  
議員

**問1**

第三セクターは、公共セクターと民間セクターの良さを生かして、与えられた原資の中で経営をすることによって地域開発を進め、地域活性化を図っていくことである。市が出資するのであるから市民に理解される経営をしていかなければならない。

そのため、第三セクターは市民に対する公開性と透明性ある経営が求められる。9月までの上期決算状況について伺いたい。

**問1**

第三セクターの上期決算について

**問2**

学校施設整備計画に対する意見集約は

**答1**

総務部長 常陸太田産業振興(株)は、67万円の黒字、(株)水府振興公社は217万円の黒字、(一財)里美ふるさと振興公社は609万円の黒字である。上期決算に基づく分析結果や利用状況等を踏まえ所管部署及び第三セクターと情報共有し、課題・問題等の改善に向けた取り組みが推進され、年度事業計画の目標が達成されるよう努めている。

**問2**

常陸太田市学校施設整備計画の改定版で示した内容を保護者や地域の方々に理解していただくと共に、統合予定についても保護者や地域の方々が望む方向で実現することが大切だと考えている。意見集約はどのように考えているのか伺いたい。

**答2**

教育長 小学校の保護者や当該学区内で保育園やこども園、幼稚園へ通う保護者から統合に係るアンケート調査のご協力



深谷 渉  
議員

**問1**

全国では、多種多様な読書推進策を図っている。知的書評合戦ビブリオバトルもその一つである。また、高齢者等で読書意欲はあるが、事情により図書館を利用できない市民に対して移動図書館の導入が必要である。その導入に対する考えを伺いたい。

**答1**

教育部長 子どもの読書推進活動は市の「子ども読書活動推進計画」等により多くの事業に取り組んでいる。大人の方を

**問1**

移動図書館導入を含めた多様な読書推進策は

**問2**

登下校時の児童生徒の荷物負担軽減が必要

対象とした推進の取り組みも、リサイクルブックフェアの開催などテーマに沿った展示コーナーを多数設置し取り組んでいる。

ビブリオバトルは、参加者自身が発表者として本をつなぐ仲立ちとなり、聴衆も質問や投票をする仕組みに特徴があり、読書離れの状況への対策として、今後、実施に向け調査研究をしていく。

また、移動図書館の導入については、多額の経費がかかることや

**問2**

教科書のページ数は年々増え、平成14年と比べると小学生校ともに1.5倍以上になっている。したがって重さも1.5倍になり、小学生で平均の荷物重量は6kgと言われる。体に痛みを感じる児童も3割に上るようである。文部科学省からも荷物軽減要

**答2**

請の通知が出ているが、その対策を伺いたい。

教育部長 既に児童生徒の発達段階や学習上の必要性に応じて判断し、児童生徒の身体への負担軽減を図っている。

今後、市内の代表的事例の紹介や、近隣の市の状況を参考にしながら、児童生徒の荷物の軽減について各学校に助言をしていく。

【深谷 渉 議員 質問事項】

- 森林環境譲与税(仮称)について
- 読書の推進について
- 小中学生の荷物負担軽減について

【平山 晶邦 議員 質問事項】

- 市職員の教育システムについて
- 市が出資している第三セクターの経営について
- 常陸太田市学校施設整備計画について

# 議会トピックス

## 議会改革を推進していきます

常陸太田市議会では、少子高齢化時代により今後、厳しい行政運営が想定されるため、9人の委員で構成する「議会改革推進会議」を昨年度より設置し、議会改革を推進しています。今後は、更なる改革を進めるため、常任委員会の活動や議会報告・意見交換会等の活性化を図り、今後も市民に分かりやすい開かれた議会運営を進めてまいります。



議会改革推進会議

委員 長	益子 慎哉	副委員長	茅根 猛
委員	高木 将	委員	深谷 秀峰
//	菊池 伸也	//	深谷 涉
//	藤田 謙二	//	小室 信隆
//	森山 一政		

## 行政視察にお越しいただきました

1月24日、秋田市議会が当市を訪れ、友好都市・図書館・公共交通関係について視察いただきました。

議会では、議会活動や政策立案等に役立てるため、他自治体の先進的な取り組みを調査する行政視察が行われています。昨年は、<sup>ひがしそのぎちよう</sup>銚田市議会をはじめ福島県浅川町議会や長崎県東彼杵町議会など全国から当市へ行政視察のためお越しいただきました。



視察の様子



宇野 隆子  
議員

## 問1 東海第二原発再稼働に反対を 問2 高すぎる国保税の引き下げは緊急の課題

問1

日本原子力発電の副社長の「協定には拒否権という言葉はない」との傲慢な発言に対し、6市村の首長は原電に謝罪と撤回を求めたが、①原子力所在地域首長懇談会の協議事項の内容と新安全協定について。②再稼働の可否を判断するうえで、幅広い市民の意見を聞く方法・計画について。③県バス協会が「放射能が放出された時点でバスは出せない」「3千台もの提供は不可能」との認識を示している。避難計画の前

答1

提が崩れた格好である。バスの確保等の情報について伺いたい。市長 一点目は、懇談会で「1市村でも了解しなければ再稼働はできない」と6市村で認識を共有している。二点目は、教育・福祉・産業などの各分野から20名を選出して意見を聞く会を実施し、結果をホームページなどで公表する考えである。総務部長 三点目のバス協会の状況については、「被ばく線量の予測線量が1ミリシー

問2

ベルト以下の場合に協力を要請することを前提に連絡体制の整備などの協議を行っており、広域避難に関する会議等で県から随時説明を受けている。国民健康保険税(国保税)は、協会けんぽの1.3倍、組合健保の1.7倍にもなっており、国保税の引き下げは緊急の課題である。全国知事会は「協会けんぽ並み」に引き上げるために「1兆円の公費負担増」を国に要望している。一般会計から繰入等

答2

で引き下げを求めたい。①来年度の国保税と一般会計からの繰入について。②一人当たり1万7千円の「均等割」は子どもの数が増えるほど引き上がる。「均等割」の減免・見直しについて伺いたい。保健福祉部長 一点目の来年度の国保税は現行制度により運営、適正な繰入に努めていく。二点目については、子育て支援策として有効との考えもあるが、減免分の補填に対する財源の問題もあり現行制度で運営していく。

【宇野 隆子 議員 質問事項】

- 東海第二原発の再稼働問題について
- 国民健康保険税の引き下げについて
- いじめ問題、不登校対策について
- 新一年生へのランドセルプレゼント(無償配布)について
- 市独自の給付制奨学金の創設について



## 総務委員会

総務委員会では、条例の一部改正1件、工事請負契約2件、補正予算1件、合計4件の審査を行い、付託された4議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

### ▼主な質疑応答

**議案第80号** 常陸太田市議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例の一部改正について  
（公職選挙法の一部を改正する法律が平成29年6月21日に公布され、平成31年3月1日から施行されることに伴い改正するもの）

**問** 今回の公職選挙法改正により選挙運動用ビラの頒布が解禁になるがビラの頒布の規定・方法等について伺いたい。

**答** ビラの頒布については、市長選挙では1万6千枚、市議会議員選挙では4千枚の規定まで頒布可能で、それぞれ選挙管理委員会に届け出たものでなくてはならない。

また、ビラの規格については、A4サイズ以下のもので、頒布責任者の氏名等をビラの中に記載し、内容については、特に制限はないが、個

人演説会の告知や政見の宣伝などを記載することができる。

なお、頒布方法については、新聞の折り込みや候補者の選挙事務所内、個人演説会場内または街頭演説の場所での頒布の方法に限られる。

**議案第90号** 平成30年度常陸太田市一般会計補正予算（第5号）について  
（一般会計予算を4億3286万円を追加し、総額248億1279万円とするもの）

**問** 学校・幼稚園整備工事費としてエアコン設置に係る補正予算を計上しているが、今回の補正予算で市内すべての小中学校・幼稚園にエアコンが整備されるのか伺いたい。

**答** エアコン設置工事については、今回の補正予算で小中学校・幼稚園のすべての学校に設置する予定であるが、現在の水府小・中の校舎については、新年度予算で、リース等で整備が可能かどうか検討している。

【委員会構成】  
委員長 菊池 伸也  
副委員長 深谷 渉  
委員 後藤 守  
委員 茅根 猛  
委員 高星 勝幸  
委員 平山 晶邦



## 文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の一部改正1件、指定管理者の指定3件、補正予算3件の審査を行い、付託された7議案を全会一致により原案可決すべきものと決定。請願第2号を全会一致で採択すべきものと決定した。

### ▼主な質疑応答

**議案第81号** 常陸太田市認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部改正について  
（金砂郷保育園・金郷幼稚園を統合し、うぐいすこども園を開設し、また、すいふこども園を新園舎への移設により位置変更となることに伴い改正するもの）

**問** うぐいすこども園の保育園児数と幼稚園数の利用定員について伺いたい。

**答** 幼稚園対象である3歳から5歳までの1号認定児については、今までの90名から45名へ、保育園対象である3歳から5歳までの2号認定児については75名から83名と8名の増となる。また、保育園対象児の0歳児から2歳児の3号認定児については50名から57名と7名の増で、保育園定員枠が15名増え、幼稚園定員枠が45名の減ということで、総数185名の定員となる。

**議案第93号** 平成30年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算（第2号）について  
（介護保険特別会計予算を324万8千円を減額し、総額6億3820万9千円とするもの）

**問** 今回の補正について、居宅介護住宅改修費の減額の理由について伺いたい。

**答** 居宅介護住宅費の助成対象者については、要介護1から5までの認定を受けている方で、より安全な生活が送れるよう住宅を改修するための事業である。

平成29年度は162件の申請があったが、今年度10月までの申請数は71件で、1か月当たり3.5件減っているような状況であるため、減額補正を行うものである。

**請願第2号** 教育予算の拡充を求める請願

（国会及び政府に、計画的な教育環境の改善と教育予算を確保・充実されるよう意見書をもって強く要望するもの）

**意見** 願意妥当であり採択すべきと考える。※意見書は11ページを参照

【委員会構成】  
委員長 長川又 照雄  
副委員長 諏訪 一則  
委員 宇野 隆子  
委員 高木 将  
委員 深谷 秀峰  
委員 小室 信隆

産業建設委員会

産業建設委員会では、条例の全部改正1件、関係条例の整備1件、指定管理者の指定2件、補正予算5件、合計9件の審査を行い、付託された9議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

**議案第82号 地方公営企業法の規定を適用することに伴う関係条例の整備について**

(地方公営企業法の規定を簡易水道事業、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び戸別合併処理浄化槽設置整備事業に適用することに伴い関係条例の整備を行うもの)

**問** 今回の条例改正に併せて、「中の町団地(上深荻町)」、「つぐいす台団地(小菅町)」の地域下水道について今後入居者が管理していくこととしているが、どのような管理体制とするのか伺いたい。

**答** 入居者で組織されている自治会が主体となり、電気・水道料金をはじめ、点検業務や清掃業務などの日常業務等について、維持管理者と自治会が契約を行い管理を行っていくことになる。

**問** 今回改正の2つの団地の地域下水道について、機械等の故障の際の対応はどのようにするのか伺いたい。

**答** 機械設備などの合併処理浄化槽本体の不都合による修繕に関しては、入居者の負担とならないよう、市で対応していくこととする。

**議案第85号 常陸太田市の施設に係る指定管理者の指定について**

(里美カントリー牧場、里美温泉保養センター、総合交流ターミナルの3施設の指定管理者を(一財)里美ふるさと振興公社に指定するもの)

**問** 各施設の収支状況改善に向けての取り組みについて伺いたい。

**答** 平成30年1月に経営健全化計画を策定し、平成30年度から5年間で経営の安定化を図るため経営状況注視の視点に基づき、現在各施設とも運営にあたっている。

【委員会構成】

- |            |          |
|------------|----------|
| 委員長 藤田 謙二  | 委員 成井小太郎 |
| 副委員長 菊池 勝美 | 委員 益子 慎哉 |
| 委員 黒沢 義久   | 委員 森山 一政 |



政務活動費 Q & A

政務活動費は、議員活動に必要な調査研究その他の活動に資するため必要な経費として、「常陸太田市議会政務活動費の交付に関する条例」等に基づき、会派に交付されるものです。当議会の政務活動費についてお答えします！

Q1. 政務活動費の金額はいくらですか？

答 議員1人につき月額15,000円(年額180,000円)です。  
※残額はすべて返金しています。

Q2. 政務活動費はどのような経費に使えるの？

答 「市政務活動費用途基準の運用方針」により詳細に決められています。  
(項目：調査研究費・研修費・広報費・広聴費・要請、陳情活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・人件費・事務所費)

Q3. 収支報告書には領収書を添付していますか？

答 1円単位で領収書の添付が義務づけられています。

政務活動費の収支報告書及び領収書は、市議会事務局での閲覧や市議会ホームページで公開しています。



## 議会運営委員会

10/19、11/21、12/3、12/12

### 第5回定例会の会期・日程等について協議

10月19日、第5回定例会の会期について協議、本会議に諮ることとし、「ひたちおたお知らせ版」及び市施設・各支所窓口へ掲示することとした。11月21日には第1日の日程、議案等付託委員会、一般質問・議案質疑の通告期限及び一般質問の方法・時間制限について。12月3日には一般質問通告者、請願の取り扱いについて。12日には追加議案、最終日の日程、議員提案、議員派遣について協議を行った。

委員長	深谷 渉	副委員長	深谷 秀峰
委員	後藤 守	委員	川又 照雄
〃	菊池 伸也	〃	益子 慎哉
〃	藤田 謙二		

14日	12月11日	10月7日	6日	5日	12月3日	21日	14日	12月5日	29日	23日	22日	10月19日	10月1日	
本会議(採決・閉会)	産業建設委員会・議会運営委員会・全員協議会	文教民生委員会	総務委員会	文教民生委員会協議会・産業建設委員会協議会	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(開会・議案説明)・議会運営委員会	本会議(一般質問)	本会議(議案質疑)・総務委員会協議会	本会議(議案質疑)・産業建設委員会協議会	本会議(議案質疑)・総務委員会協議会	本会議(議案質疑)・総務委員会協議会	本会議(議案質疑)・総務委員会協議会	本会議(議案質疑)・総務委員会協議会
	茨城県市議会協議会	茨城県市議会協議会	茨城県市議会協議会	茨城県市議会協議会	茨城県市議会協議会	茨城県市議会協議会	茨城県市議会協議会	茨城県市議会協議会	茨城県市議会協議会	茨城県市議会協議会	茨城県市議会協議会	茨城県市議会協議会	茨城県市議会協議会	茨城県市議会協議会

第5回定例会で議員提案された下記の意見書を可決し、国会及び政府へ提出しました。

### 教育予算の拡充を求める意見書

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で、子どもたちの豊かな学びを実現するためには、教員の教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠である。そのためには、教職員定数改善などの施策が最重要課題となる。

特に小学校においては、平成30年度から新学習指導要領の移行期間に入り、外国語教育実施のため授業時数の調整など対応に苦慮する状況となっており、明日の日本を担う子どもたちを育む学校現場において、教職員が人間らしい働き方ができるよう、長時間労働の是正が必要であり、そのための教職員定数改善も欠かすことができない。

義務教育費国庫負担制度については、「三位一体改革」の中で国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられた。自治体によっては、厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われ、地方自治体の財政を圧迫している。憲法で保障されているように、子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられるよう、国の施策として財源を保障し、豊かな子どもの学びを実現するための条件整備をすることは不可欠である。

よって、国会及び政府においては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるようにするために、下記の措置を講じられるよう強く要望する。

記

1. 計画的な教職員定数改善により少人数学級を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成30年12月14日

常陸太田市議会

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

### 請願

件名	提出者	結果
請願第2号 教育予算の拡充を求める請願	水戸市笠原町978-46 茨城教育会館2F 茨城県教職員組合 杉山 繁 外204名 【紹介議員】茅根 猛	採 択

### 議員提案

件名	提出者	結果
議員提案第2号 教育予算の拡充を求める意見書の提出について	提出者 川又 照雄 賛成者 諏訪 一則 宇野 隆子 高木 将 深谷 秀峰 小室 信隆	原案可決

## 議会を傍聴しませんか

傍聴される方は、市役所4階市議会議場前の傍聴受付で所定の用紙に住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券をお受け取りください。傍聴する際には注意事項をお守りください。

### 3月定例会会期日程（予定）

3月	1日(金)	午前10時	開会・議案説明
	5日(火)	午前10時	一般質問
	6日(水)	午前10時	一般質問
	7日(木)	午前10時	議案質疑
	8日(金)	午前10時	総務委員会
	11日(月)	午前10時	文教民生委員会
	12日(火)	午前10時	産業建設委員会
	13日(水)	午前10時	予算特別委員会
	14日(木)	午前10時	予算特別委員会
	18日(月)	午前10時	採決・閉会

## 茨城県市議会議長会から 感謝状

昨年10月に行われた茨城県市議会議長会定例会において、益子慎哉前議長に茨城県市議会議長会監事として公務を運営し、また市議会議長として、地方自治の発展と市政の向上に貢献されたことにより、感謝状が贈呈されました。



益子 慎哉 議員

## 表紙によせて

### 太田一高写真部

私たち写真部は、個性豊かで楽しい雰囲気のある部活動です。主な活動は、写真展やコンテストへの作品出展、学校行事や部活動の撮影などです。部員同士で写真のアドバイスをするなど、高校の部活動ならではの良さもあります。

これからも常陸太田市の魅力を伝えられるような写真を撮っていきたいです。



写真部部长 柳橋 茉美



#### ●写真部の皆さん

柳橋 茉美 鈴木 遥 野口 暖瑠 木村 遥  
 長山 桐夏 大内 音咲 大塚 友賀 石川さくら  
 小田倉大皓 篠原 理菜 古内 颯 岸 春奈  
 関 美咲 皆川 凜奈 (順不同)

### 編集後記

議会だより第155号では第5回定例会の主な内容を掲載いたしました。

今年4月をもって「平成」の元号が終了し、5月には、新元号に変わります。元号について調べて見ると、今から1400年ほど前に、当時の中国を手本にして、元号が使われるようになったといわれており、「大化」から「平成」まで計247回、奈良時代には5回にわたり4文字の元号が使われた時代があり、中には、天変地異により元号が改元された時代がありました。

さて今号から、表紙を太田一高写真部に依頼し掲載していきます。若い力で常陸太田市の魅力を発信していきますので、ご期待ください。今後、広報委員会一同皆様に親しまれる広報づくりに向けて取り組んでまいりますので、よろしく願います。委員長 高星 勝幸

#### 広報委員会

委員長 高星 勝幸  
 副委員長 藤田 謙二  
 委員 川又 照雄  
 菊池 深谷 伸也  
 諏訪 一則  
 菊池 勝美